



### 「予告！懇親会の概要」

新型コロナの感染もやっと落ち着き、国内外を問わず旅行に出掛ける機会が多くなってきました。そこで恒例の懇親会を 10 月 26 日（土）に開催したいと考えています。詳細につきましては 8 月 1 日号に掲載予定ですが、概要は以下のようになります。

まず大紀町にある“瀧原宮”を参拝します。その後、大内山の「民泊いづほ」にて、薪を使ってパンを焼く体験をして焼き立てのパンで昼食を召し上がって頂く予定です。

帰りは近隣の「大内山ミルク村」でソフトクリームのデザートを堪能して頂いては如何でしょうか？

歩く距離はそれほどありませんので、歩くのが苦手な方も安心してご参加頂けます。



### 「視覚障がい者向けパソコン講座」

例年のように、8 月から 10 月に掛けて 10 回の講座を予定しています。サブ講師の皆様、サポートを宜しくお願い致します。

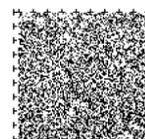


### 熱田神宮とひつまぶし

T.K

夏といえば鰻ですね。熱田神宮による機会がありましたのでちょこっと参拝してきました。参拝後は近くの蓬菜軒でお目当てのひつまぶしを堪能してまいりました。

ひつまぶしといえば、名古屋を代表するうなぎ料理です。その特徴は一つの料理で異なる 3 つの味わいを楽しめるところにあります。まず、釜からそのままの状態をいただくことで、うなぎとご飯のハーモニーを純粋に楽しむことができます。次に、薬味を加えることで、新たな味わいが広がります。そして最後に、だし茶漬けにすることで、一段とまろやかな風味を楽しむことができます。特製のおだしで食べるお茶漬け風ひつまぶしは絶品です。



## 本人確認の重要性とその方法



先月号でスマホの乗っ取りについてその手口などを紹介しましたが、ここでは本人確認の重要性と、それを強化する方法について説明します。

まず、個人を区別するためには、少なくとも氏名、住所、生年月日の3項目が必要であるとされています。そして、その個人を保証する書類として「本人確認書類」が発行されます。

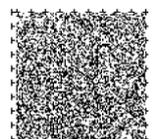
次に、本人確認の強度について説明しています。強度が高いのは国が保証する運転免許証やマイナンバーカード、在留カードです。逆に強度が低いのは社員証や学生証になります。

また、本人確認には「身元確認」と「当人認証」の2つの要素が必要です。身元確認は、本人確認書類を使って「その人が誰か」を特定することです。当人認証は、身元確認書類に貼付された顔写真と本人を見比べることで、「この人が本当にその人か」を確認することです。



さらに、本人確認をより確実にするために、機械による偽造チェックが重要です。ICチップを搭載した本人確認書類であれば、機械で確実に偽造を検出することができます。

最後に、政府はマイナンバーカードを使ってオンライン・オフラインの本人確認を一本化することを目指しているようです。これにより、より安全で便利な本人確認が可能になるとされています。





## 活動報告

【6月】の活動報告

障がい者対象個人向けパソコン講座

(4日、11日、18日、25日)



## 活動予定

【7月】の活動予定

障がい者対象個人向けパソコン講座

2日、9日、16日、23日

松阪市障がい者福祉センター 9:30~11:30

### 徒然なるままに

#### 日本列島の成り立ち—その4—西日本の内帯（北側）の成り立ち

前号では、「西日本の内帯（北側）は、イザナギプレートの上に堆積した“付加体”がユーラシアプレートによって剥ぎ取られたもの」という説明をしたのう。もっと詳しく調べてみると、その堆積した付加体は長い長～い年月に亘って堆積したもので、多くの部分に分かれておったのじゃ。

次の図が詳しい内訳じゃ。4億年以上前の“大陸の地殻”もあるが、その他は3億年前や2億年前、1億年前の付加体じゃ。非常に複雑な地質で出来上がってあってジグソーパズルのようじゃ。そして西日本といっておるが、東の端は関東・上越まで

伸びており、東北日本との境目は、山形県酒田～福島県棚倉（たなくら）～茨城県水戸北方を通る「棚倉構造線」だそうじゃ。

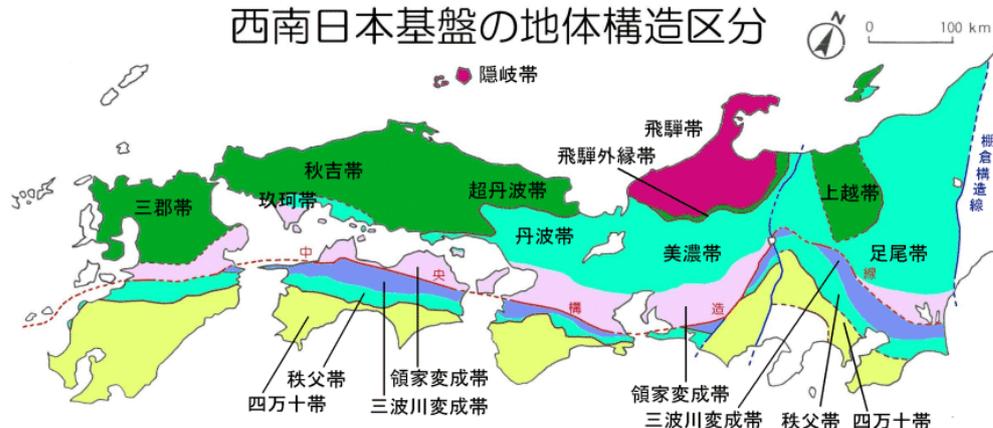
#### 【補足説明】

構造線：「断層」というのは、色々な方向から押されたり引っ張られたりしてできた大地の中のズレ目をいう。「構造線」は、その「断層」のうち、大きくずれ動いた結果、両側に違う岩が並んだ、異なる地質の境界線になっている断層をいう。

右の写真では、真ん中に中央構造線が走っており、その右側が外帯（南側）、左側が内帯（北側）となる。

【参考】大鹿村中央構造線博物館

#### 西南日本基盤の地体構造区分



- 4億年より前の大陸地殻 … 隠岐・飛騨帯
- 約3億年前(古生代～中生代三畳紀)の付加体 … 三郡・秋吉・超丹波・飛騨外縁・上越帯
- 2-1億年前(中生代ジュラ紀)の付加体 … 玖珂・丹波・美濃・足尾 // 秩父帯
- 1億年前(白亜紀)の高温低圧変成帯 … 領家変成帯
- 1億年前(白亜紀)の低温高圧変成帯 … 三波川変成帯
- 1-0.25億年前(中生代白亜紀～新生代古第三紀)の付加体 … 四万十帯



中央構造線の北川露頭 (長野県大鹿村)





### 三都の名物（江戸中期）

松阪名物は「松阪牛」、伊勢名物は「赤福」と言われるように、江戸中期の三都（江戸、京都、大阪）にも、多くの名物がありました。奈良を加えて四都の名物ともいわれました。そして、三都の名物を並べて口ずさむ狂歌が流行したそうです。

※句読点と助詞をつけました。

- 江戸の名物 武士、鯉、大名小路に生鰯。茶店、紫、火消、錦絵。
- 京都の名物 水、壬生菜、女、羽二重、御簾屋針(みっしゃばり)。寺に織屋に人形、焼物。
- 大坂の名物 橋に船、お城、芝居に米相場。総嫁(そおか)、揚屋(あげや)に石屋、植木屋。
- 奈良の名物 大仏に、鹿の巻筆、霰(あられ)酒。春日灯籠、町の早起き。



みっしゃ針



大仏

注) 御簾屋針(みっしゃばり)・・・京の三条大橋にある『三條本家みすや針』  
 総嫁(そおか)・・・頬被りをして、菰を抱えた遊女  
 揚屋(あげや)・・・遊郭で太夫など比較的上級の遊女を置屋(遊女をかかえ、養っている家)から招いて遊興させる店

さて、松阪だといくつかの名物になるのでしょうか。城に鈴。松阪牛に松坂もめん・・・。これら名物は、当時の風俗の一面をよく反映しているのかもしれませんが。

奈良の名物「町の早起き」は落語の「鹿政談」にも出てきますが、当時の奈良春日大社の鹿は「神鹿」として大切に扱われ、鹿奉行が置かれて幕府から手厚く保護されていました。

鹿は神のお使わして、鹿を殺せば重罪に処されたのです。

朝早く、もし自分の店の前で鹿が死んでいたとなると、鹿を殺した犯人にされかねません。

このため、こうならないように、早起きをしたというわけです。

T.O 記

#### 編集後記



夏の風物詩ともいえる祇園祭や花火大会が開催されます。松阪市の花火大会は、嬉野おおきん祭り、大石不動院 八朔まつり、朝田地蔵まつりといった魅力的なイベントが目白押しです。

また蒸し暑い7月に健康を守るためには、いくつかの重要なポイントを押さえておく必要があります。

特に、熱中症や夏バテはこの時期に多く見られる健康トラブルとなりますので、適切な対策を講じることが大切です。



### CTF 通信第 256 号

2024 年（令和 6 年）7 月発行  
発行者 IT を活用した障がい者支援 NPO 法人

CTF 松阪

発行責任者 山 田 則 男

住 所 〒515-0083

松阪市中町 6-9-1401

電 話 0598-26-6333

<http://ctf-matsusaka.sakura.ne.jp/>

